

桑野塾

桑野塾 検索

<http://deracine.fool.jp/kuwanojuku/>

大学などの研究者に限らず、興味を持って研究していることを自由に発表しあう「広場」です。
どなたでもご参加いただけます。
それぞれの興味が少しずつ重なり合うことで、新たな知見を見いだそうという場です。

第32回

2015年
7月4日(土)
15:00 ~ 18:00

早稲田大学 早稲田キャンパス16号館 820号室

★どなたでもご参加いただけます。会場に直接お越しください。参加無料

☆終了後、近くの居酒屋で懇親会を開催します。(飲食費は別途)

※予約の都合上、懇親会参加をご希望の方はなるべく事前にご連絡いただけると助かります。

※報告者・タイトルは変更の可能性もあります。ご了承ください。



〈サーカス学〉がめざすもの

桑野塾世話人のひとり大島幹雄の『〈サーカス学〉誕生』(せりか書房)発刊にちなんでサーカス学のこれからの展望します。

サーカス学講座について

報告者: 竹内 正則(古書カフェ「くしゃまんべ」オーナー)

『〈サーカス学〉誕生』という本は2013年3月から王子にある古書カフェ「くしゃまんべ」で不定期に6回開催された「サーカス学講座」から生まれました。オーナーとしてこの店で行ってきたさまざまなイベントやこのサーカス学講座についてお話しします。

●竹内 正則(たけうち まさのり)

東京都北区の王子駅から徒歩5分にある大道芸・サーカスなどが専門の古書カフェのオーナー。この店で古書やパフォーマンス、大道芸・サーカスに関するさまざまなイベントを展開。ハードパンチャーレシンのすけとのユニット「本を読めコノヤロウ」は、ブックバトルを超えた読書人パフォーマンスとして人気を呼んでいる。



サーカス学とパフォーマンス学の交差点

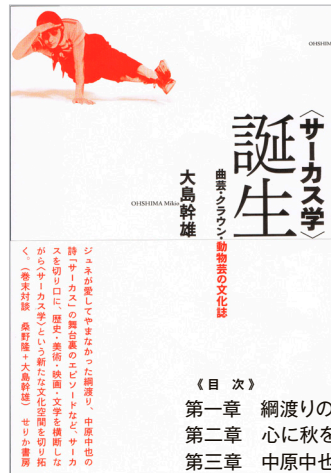
報告者: ハードパンチャーレシンのすけ (ジャグラー/にちゆうまる企画代表)

今、「パフォーマンスや芸能を研究し、語る」のが来てる!という息吹を感じて、その風を確たるものにしたと思い、2013年に「両国パフォーマンス学会」を立ち上げました(第3回は6月27日開催)。

「パフォーマンス学」がめざすものはなにか、パフォーマーとして「サーカス学」をどのように見ているかなどを中心に、サーカス学の可能性を展望します。

●ハードパンチャーレシンのすけ

東京大学在学中に、ピーター・フランクル氏(数学者、ジャグラー)らにより創設されたジャグリングクラブ「マラバリスタ」に所属し、ジャグリングを学ぶ。自らも「小平ジャグリング倶楽部」を創立するなどジャグラーとしての活動をしながら、研究者を目指し東京大学大学院博士過程進学。しかし、ジャグリングの魅力から逃れられず進路を変更し、2002年からプロジャグラーとしての活動をスタート。さまざまな大道芸イベントを企画制作する会社「にちゆうまる企画」を運営するかわら、各地のカルチャースクールなどでジャグリング講師としても活躍中。



大島幹雄

『サーカス学誕生』

曲芸・クラウン・動物芸の文化誌

せりか書房 / 2015年6月発行

定価2,400円+税

〈目次〉

- 第一章 綱渡りの詩学
- 第二章 心に秋を抱いたクラウン、エンギバロフ
- 第三章 中原中也とサーカス—サーカスとブランコ
- 第四章 ロシア・アヴアンギャルドとサーカス
- 第五章 熊の神話学
- 第六章 旅する象・叛乱する象—映画の中の象物語
- 第七章 インディアンロープの伝説
- 第八章 竿芸のフォークロア

付録 対談 桑野隆×大島幹雄「サーカスの世界」から「サーカス学誕生」へ

引用・参考文献/あとがき

映像で追う『〈サーカス学〉誕生』

報告者: 大島幹雄(『〈サーカス学〉誕生』著者)

拙著『〈サーカス学〉誕生』はサーカスを、文学・歴史・音楽・美術という窓を通じて見ていったものです。この中で映画は大きな役割を担うことになりました。本書に出てきた映画のすべてを予告編や本編を見てもらいながら、サーカス学を立体的に感じとっていただきます。

●大島 幹雄(おおしま みきお)

サーカスプロデューサー。著書に『サーカスと革命』(水声社)、『明治のサーカス芸人はなぜロシアに消えたのか』(祥伝社)、『サーカス学誕生』(せりか書房)など。